

(別紙5)

整理番号 2018P-133  
補助事業名 平成30年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業  
補助事業者名 社会福祉法人日本点字図書館

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

録音雑誌「医学研究」「ホームライフ」の製作・配布により、視覚障害者の就業継続に必要な医療情報及び自立した生活を送る為に必要な生活情報を必要な時に入手することを可能にすることで、当事者及びその支援者にとって質の高い生活を提供し、支援することが目的です。

### (2) 実施内容

完了報告URL：<https://www.nittento.or.jp/report/jka30.html>

視覚障害者で、就業継続に役立つ医療情報を必要とする方、および日常生活に関する各種情報を得ることを希望される方を対象に、録音雑誌「医学研究」「ホームライフ」を発行しました。発行は毎月1回（2018年4月より2019年3月まで）、全国の読者へ毎月1,300枚（年間15,600枚）、および全国の点字図書館、療養施設、特別支援学校へ毎月140箇所（年間1,680枚）の配布を行いました。また、視覚障害者図書情報ネットワーク「サピエ図書館」に音声データを掲載し、インターネットを介しても随時利用できるようにしました。



## 2 予想される事業実施効果

情報障害とも言われる視覚障害者にとって、情報を入手する際に利用できる媒体は、限られているという現状があります。その中でも、特に就労に役立つ医療情報や、日常生活を送る上で参考となるような生活情報は、生計を立てることや生活の質を高める上において、重要な情報といえます。「医学研究」や「ホームライフ」は、視覚障害者の就労・自立に有益な情報を得る方法のひとつとして、視覚障害者に有効に活用されています。

(別紙5)

提供方法は、毎月1度、定期的に発行する月刊誌の形を取りました。この利点として、新しい情報を即時的に提供することができる点があります。また、配布という形で提供しているため、利用者の手元に置いておく事が可能となり、本人が必要なときに必要な情報を素早く確認することができる点を挙げる事ができ、事業実施の効果は高いと言えます。

製作にあたっては、視覚障害者にとってニーズの高い情報を中心に、常に最新の情報を提供することを心がけました。ラジオやテレビ以外で情報を得ることが難しい読者にとって、当館の録音雑誌での情報提供は一定の効果があります。就労支援および自立支援のためのオリジナルコンテンツを提供する事業は、多くの利用者から必要とされています。他にも同様のサービスがない中、今後も本事業を継続すべき価値があります。

### 3 補助事業に係わる成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

録音雑誌「医学研究」「ホームライフ」(2018年4月号～2019年3月号)

#### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

### 4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人 日本点字図書館(ニッポン テンジ トショカン)

住 所： 〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

代 表 者： 理事長 田中 徹二(タナカ テツジ)

担 当 部 署： 総務部総務課 (ソウムブ ソウムカ)

電 話 番 号： 03-3209-0241

F A X： 03-3204-5641

E - m a i l： [nitten@nittento.or.jp](mailto:nitten@nittento.or.jp)

U R L： <https://www.nittento.or.jp/>